



発行所

一般社団法人 全日本木材市場連盟
編集・発行人 中山義治
東京都文京区後楽1-7-12
〒112-0004 林友ビル6階
電話 03(3818)2906
FAX 03(3818)2907
毎月1回1日発行
定価 年3,000円
(会員は会費に含まれています。)

木づかい運動感謝状贈呈式

新栄合板 JR九州などに大臣感謝状

活木活木(いきいき)森ネットワーク(会長・吉条良明全木連会長)は10月1日(火)、都内で平成13年度「木づかい運動感謝状贈呈式」を開催した。出席は、受章関係者のほか、来賓として林芳正農林水産大臣、沼田正俊林野庁長官など。吉条良明会長は、「今年度から地方自治体を顕彰の対象に含めたことで、官公



林農林水産大臣、沼田林野庁長官を囲んで記念撮影

民一体で、木づかい運動を進める体制ができた。受賞者の方々には、今後ますますのご活躍をお願いしたい」と挨拶した。農林水産大臣感謝状「大規模国産材供給・利用部門」の新栄合板工業(熊本県とタマホーム(東京都)、同「国産材利用推進部門」の大建工業(大阪府)と港区(東京都)、同「木づかい運動推進部門」の九州旅客鉄道(福岡県)と酒井産業(長野県)にはそれぞれ、林芳正農林水産大臣から感謝状が贈呈された。大臣賞以外の受賞者は、次のとおり。(大臣賞を含め、合計17件)▽林野庁長官感謝状「大規模国産材供給・利用部門」森の合板協同組合(岐阜県)「国産材利用推進部門」協同組合オホツクウッドピア(北海道)、全国建具組合連合会(東京都)、「木づかい運動推進部門」大阪木材仲買協同組合(大阪府)、釧路森林資源活用円卓会議(北海道)▽日本木材総合情報センター理事長感謝状「大規模国産材供給・利用部門」かつら木材商店(和歌山県)「国産材利用推進部門」川根本町(静岡県)、山共(岐阜県)、ウエキ産業(福岡県)「木づかい運動推進部門」大阪製材業協同組合(大阪府)、株式会社金剛組(大阪府)。

この贈呈式は、今年度で9回目。応募者総数は、3部門あわせて22件と、昨年度20件を上回っており、増加傾向にある。また新幹線や観光列車の内装に国産材を利用したり、駅舎をはじめ地下通路、待合室等の木質化に積極的に取り組んだ九州旅客鉄道、そして建築物等へ国産材の使用を推進する「みなとモデル二酸化炭素認証制度」を創設し、同制度に登録されている協定木材の利用促進に努めた東京・港区などが受賞するなど、木づかい運動の広がりにあわせた審査結果となった。審査委員長の安藤直人東京大学名誉教授は講評で、「これは表彰状というより、感謝状であり、表彰された方は大いに喜んで頂き、更に広く喜びを伝えてほしい」と語った。

第41回JAS製材品展示会

第41回JAS展は、すでに3会場において実施済みであり、その概要は既報のとおりである。10月には、9日(水)10日(木)丸宇木材市売北浜会場(堤健吉社長、埼玉県)、同22日(火)23日(水)ウッドピア市売協同組合(中川邦夫理事長、三重県)で開催された。

丸宇木材市売

9日の審査会には、9社から56㎡の製品が出品され、富田文一郎審査委員長(日本木材加工技術協会会長)ほか審査員が厳正に審査した結果、90点以上が6社、うち100点2社と極めて優秀な成績であった。

翌10日の展示即売会には、主催者を代表して、全木連の尾蘭春雄副会長が出席し、JAS制度の意義や普及への協力要



あいさつする全買連 渡邊会長

請を行った。また開催市場の堤社長が挨拶し、「食品類は天皇杯や大臣賞をとると人気が出て、値段が上がったりするが、木材の場合はそうならない実態がある。ここらが課題だと思う」と語った。

ウッドピア市売

22日の審査会には、5社40㎡の製材品が出品され、富田文一郎審査委員長(日本木材加工技術協会会長)ほか審査員が厳正に審査した結果、100点ひとつを含め、すべてが90点以上と極めて優れた成績であった。

翌日の展示即売会には、全買連の渡邊佳彦会長が出席し、JAS制度の意義を話し、普及定着に向けた取り組みを要請した。



出展された製材品 (丸宇木材市売大柴浜)

また三重県木連の伊藤駿司専務理事が、三重県におけるJAS製材品の供給体制づくりについて話し、関係者の協力を要請した。最後に、開催市場を代表して、中川邦夫理事長が謝辞を述べ、式典を終えた。

第33回木と暮らしのふれあい展

「森を育てたい。だから木を使おう。」



あいさつする吉条会長

【開会式】

東京都と(社)東京都木材団体連合会(吉条良明会長)は10月5日(土)〜6日(日)、都内・江東区の木場公園イベント広場で「木と暮らしのふれあい展」を開催した。あいにく時折、小雨が降る天気であったが、会場には2日間で約5万人(主催者発表)が訪れ、出店団体による展示即売や木工教室を楽しむ参加者で、おおいにぎわった。

5日の式典は、内田鉄夫実行委員長(新東京木材商業協同組合理事長)による開会宣言のあと、主催者の東京都産業労働局の塚田祐次局長が、2020年オリ

ピック・パラリンピック決定にふれ、「スポーツだけでなく、産業技術や伝統文化も世界に情報発信したい」と挨拶した。続いて挨拶にたった吉条理事長は、「今年の夏は、異常気象が続いたが、その原因となる地球温暖化対策のため、二酸化炭素を吸収固定する森林の育成と木材利用が大切となっており、東京都や国は、さまざまな施策を推進している。木材利用ポイント事業は、一過性の経済対策に終わらせず、消費税増税後の住宅対策として、ポイント付与対象の拡充と事業継続が強く望まれる」と語った。

またオリリンピック・パラリンピックの東京開催について、「世界各国から訪れる大勢の方々に、我が国の『木の文化』を発信する絶好の機会でもある。競技会場に、木材が大いに利用されることを期待している」と語った。

そして、「現実の木材利用につなげるには、より多くの方々に木材への理解を深めていただくことが何よりも必要である。会場では皆様と、木と触れ合い親しんでいただける催しを数多く準備した」と語り、「木の良さを、肌で感じていただき、木材に対するご理解を深めて頂きたい」と結んだ。

【来賓あいさつ】

また、林野庁の宮原章人・林政部長は、「多面的な機能を有している森林は、それ自体が生き物であり、適切に伐採し利用、再生していく必要がある。日本の森林の多くは、いま利用の適期を迎えている。林野庁として、木材利用の推進のため、公共建築物をはじめ、各種施設の木材化、木質化の支援に取り組んでいる。

四月からは木材利用ポイント制度を発足させた。木材の利用技術の開発のため、木材の強度を高めるCLTなどの加工技術、耐火性の高い木材の開発などにより、木造の公共建築物とか大規模建築の建設を可能にしたい。欧州では、すでに木造の高層建築が可能になっており、日本でも法律の見直しなどが検討されているが、林野庁でもそれらに対応できる木材利用技術の開発などに取り組みたい」と語った。

この後、東京都議会代表、地元江東区山崎孝明区長が、それぞれ東京オリリンピック施設の木造化に取組む決意を述べ、式典を終了した。

【イベント会場】

イベント会場では、20の参加団体によるテントが張られ、森林の役割や木材利用の大切さを理解させるためのクイズや寸劇、木工品の即売などが行われたほか、小雨のなかで割り箸や縁台づくりを体験する木工教室などが開かれたが、順番待ちする親子連れにぎわった。また多摩



縁台づくりの指導を行う



クイズで森や樹木を学ぶ

産松の花器、木の椅子、スノコ、屋久杉盆などのチャリティオークション、住まいに関するアンケートなども行われた。またステージでは、木場の木遣りや葵太鼓、辰巳太鼓などが披露されたほか、各テントの周辺では子ども相手のキャラクターショーが行われ、終日にぎわった。

沓澤製材所に都知事賞

第58回全国優良木材展示会と

福島県産材「復興市」

東京都木材団体連合会(吉条良明理事長)と東京木材市場協会(市川英治会長)は10月3日(木)、東京木材市場株式会社(市川英治社長)において全国優良木材展示会を開催した。また展示会に引き続き、東京木材市場協会の主催により、福島県産材「復興市」が開催された。

【全国優良木材展示会】

開会に当たり、吉条会長は、関係者への謝辞を述べたうえで、「この展示会は、木材需要が急増し始めたころ、流通材の

品質規格の向上を目指してスタートした。半世紀が経過するなかで、木材需給が変化し、また代替材等が増えるなど情勢が変わってきた。最近では、環境保全が重視されるようになっており、増加する木材資源の利用が国民的な課題となっている。ぜひともお集まりの皆さんには、ご理解を頂き大いにお買上げをお願いしたい」と挨拶した。また同時開催される福島県産材「復興市」についても、「東日本、とくに福島県の復興は優先課題である。復興市が大成功に終わるように皆さんのご協力をお願いしたい」と語った。

東京都木材団体連合会の隅谷壽夫事務局長が、前日に行われた14社149㎡(うち42㎡が福島県産材)の製材品について、「寸法、表示、結束、乾燥、出荷実績などについて、減点方式で審査した。

今後に向けて課題はあるが、全体に優れた成績であった」と報告した。審査結果は表のとおり。



全優展と復興市の開会式

東京都知事賞	(株) 沓澤 製材 所	秋田
東京都産業労働局長賞	厚沢部 林産工業	北海道
	東北 木材 (株)	秋田
	耳川 林業事業(協)	宮崎
	(株) 菊池 製作 所	岩手
一般社団法人 東京都木材団体連合会長賞	沼崎 製材 所	岩手
	吉源 木材 (株)	福島
	本宮 木材 (株)	岩手
	久万広域森林組合	愛媛
	(有) 佐藤 銘木	秋田
	榎本 木材 (株)	奈良

東京都知事賞などの各賞を贈呈した後、来賓の東京都労働産業局森林課藤孝課長(代読)が「オリンピック関連施設の整備にあたっては、多摩産材などの有効活用に努めたい」と挨拶し、全木連の藤原敬常理事が祝辞を述べ、市川英治社長の謝辞で式典を終えた。

【福島県産材「復興市」】
はじめに主催者を代表して、東京木材市場協会の市川英治会長が、「本日は急遽、福島県産材の復興市を計画した。福島県産材の風評被害の払拭が最優先課題であり、地元福島県では、浅田会長を中心に大変なご苦勞をしておられる。本日の復興市においては、お集まりの皆さんに、福島県産材の全量買い上げをお願いしたい」と話した。

続いて、福島県木材協同組合連合会の朝田宗弘会長は、「東日本大震災の発生から、はや2年半が経過した。福島県で



出展された福島県産材

は地震、津波の被害に加え、放射能被害に悩まされている。風評被害で、県産製材品の売上が大きく落ち込み、先行きの不安を抱えることになったが、木材業界では、出荷時の製材品の表面放射線量を測定し、木材の安全性を証明することに、徐々に県外への出荷も回復している。福島県産材の出荷先の約半数が関東圏であり、本日の復興市の開催に感謝したい。これを契機に一層の支援をお願いしたい」と挨拶した。



あいさつする福島県木材協同組合・朝田会長



福島県の農林水産物の展示即売



福島県ブランド材「とってお木」のシール安全性を証明

続いて東京木材市場買方組合の早川理事長が、「全量買い上げに協力して頂きたい」と挨拶し、全優展、復興市の出品材のセリに移った。

福島県産材「とってお木」
写真の「とってお木」マークが貼られた製材品は、放射線量測定済みであり、安心して使用できることを示している。

当日は、東京木材市場の敷地内で、福島県産のトマトや酪農製品、清酒、味噌など、農水産物の展示即売会も開かれ、買い求める姿が見られた。

集客が懸念されたが、短時間で準備した割には、にぎやかに開催できた。関係各位のご協力に感謝申し上げます。

旭日双光章で、盛大に祝賀会

当連盟関係者の叙勲を祝う祝賀会が9月、千葉と大阪で開催された。

〔吉岡實氏祝賀会〕



吉岡理事を囲んで鏡開き

まず9月1日(日)には、当連盟の吉岡理事(千葉県木材市場協同組合理事長)の叙勲を祝う祝賀会が、ホテルグリーントワー(千葉県美浜区)で、盛大に開催された。来賓は吉条良明全木連会長をはじめとする業界関係者、千葉県幹部、森英介衆議院議員ほかの国会議員、県議会議員など。当連盟の市川会長が出席し祝辞を述べた。

〔花尻忠夫氏祝賀会〕

また9月29日(日)には、帝国ホテル大阪(大阪府北区天満橋)で、当連盟の花尻忠夫副会長の叙勲を祝う盛大かつ華やかな祝賀会が開催された。

来賓は、久我一郎全木連最高顧問をはじめとする業界関係者のほか、大阪府の小河保之副知事、石破茂自由民主党幹事



花束贈呈のあと、記念撮影

長(衆議院議員)、竹本直一自由民主党大阪府支部連合会会長(同)、中山太郎元衆議院議員ほか。当連盟からは市川会長が出席し、祝辞を述べた。

東京五輪施設の木造化を!

林野庁に検討チーム設置

林野庁では、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック施設に国産材を活用するため、庁内に「木材利用推進チーム」を設置した。今後、関係機関との情報・意見交換や行動計画づくりを進める予定。

〔人事異動〕

永井 壮茂(たけも) 内閣官房副長官補佐付 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室の室員(政府が内閣官房に設置した「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室」の室員として派遣)

福祉共済制度への加入のお願い

全市連福祉共済制度の契約の切り替えの時期が近づいてまいりました。必要な手続きを進めてまいりますので、よろしくお願ひします。

全市連福祉共済制度の概要は次のとおりです。

- ① 70歳まで自動延長「悠々コース」創設
- 高齢者の就業機会の増加にあわせ、24年度までの加入資格(15歳6ヶ月～65歳6ヶ月まで)を5年延長し、70歳まで加入できる「悠々(ゆうゆう)コース」を設けました。これにより、福祉共済保険に加入している方が65歳以降も勤務を続け、福祉共済保険の継続を希望される場合は、契約が自動的に継続されます。
- ② 掛け金
- * 一口コース1,400円
- * 悠々コース1,900円
- (女性1,000円)
- ③ 保障内容
- * 病気による死亡200万円(同100万円)、不慮の事故400万円(同200万円)、さらに不慮の事故で障害が残る場合、障害状態により20万円～140万円(同10万円～70万円)の障害給付金
- * 不慮の事故で5日以上入院の場合、120日を限度に一日3,000円(同1,500円)の入院給付金。
- ④ 迅速な支払いと高い配当率
- 必要書類をきちんとそろえて申請して頂ければ、保険金の支払いが迅速です。

最近、加入事業者、加入者数が減少傾向です。できるだけ多くの皆様にご加入頂くことで保証条件が改善する可能性があります。おおいに皆さんのご加入を待ち致しております。よろしくお願ひします。

雑記帳

「山の日」を記念日にしようという動きがあるようだ。超党派の議員が、毎年8月12日を「山の日(祝日)」にする改正案を来年の通常国会に提出し成立を目指すという。▽海の恵みに感謝する「海の日」があるなら、山の恵みに感謝する「山の日」が必要だということ、地方自治体や自然保護団体などから意見が出されていたようだ。年間15日の祝日をさらに増やすと経済活動に影響が出る。そこで影響を最小限にするためお盆の直前にするのだという。▽あとは国会次第なので、その話題は横に置いて、手元の暦を見ると、たくさんの記念日があることがわかる。文化や歴史上の出来事に由来するもの、トーフ、コーヒー、イワシ、レモンなどの食品の名に「日」をつけたものと、じつに幅が広い。大部分が、業界団体や地域、自治体などがそれぞれの思いを込めて提唱した記念日である。もちろん、ささやかだが大事な記念日のある家庭も多いだろう。▽森林・木材関係だと、「みどりの日」(祝日)、「木の日」がある。最近では「合板の日」もできた。1907年11月3日に、故浅野吉次郎翁が、ロータリーレズを開発し、日本で初めて「合板」を製造したことにちなんだものである。▽記念日より期間が長いのが「週間」や「月間」だ。こちらも数が多いが、身近なものに「木づかい推進月間」がある。年々賑やかになってきているように感じる。木を使おうと言う関係者の願いが広く社会に浸透し、木を使いたい人が気軽に使える環境づくりが大切だ。(中山)